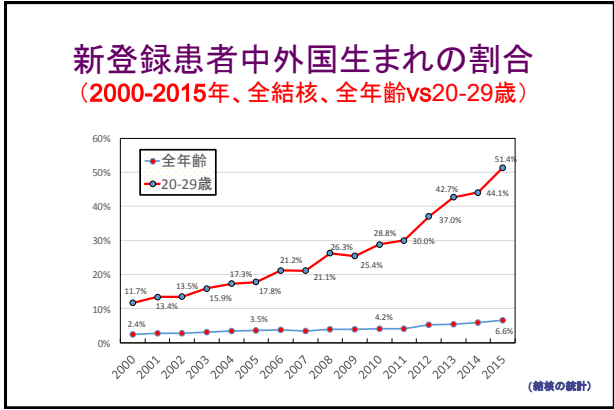
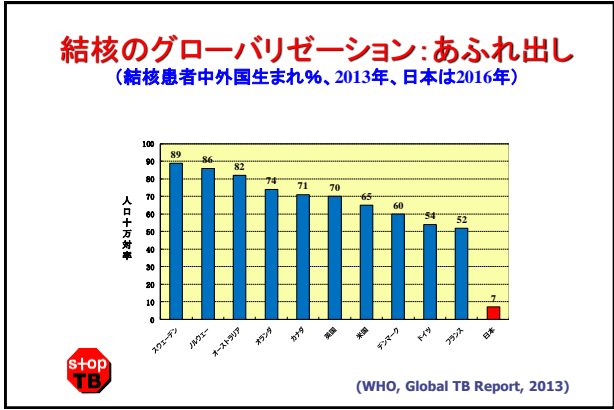
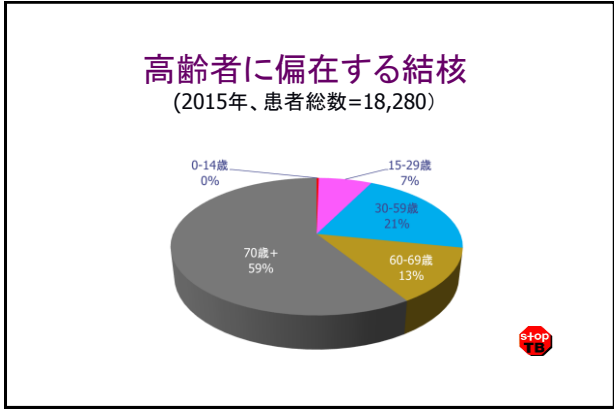
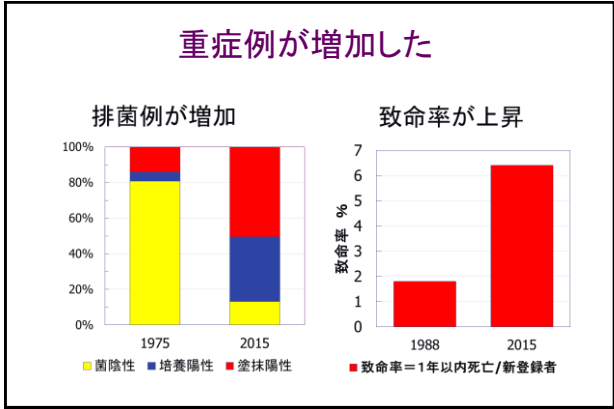
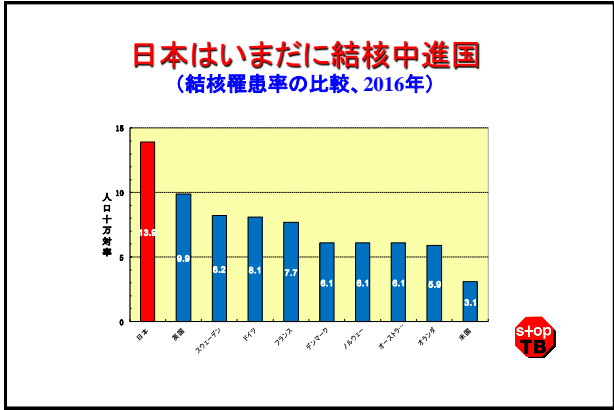


2018/03/14

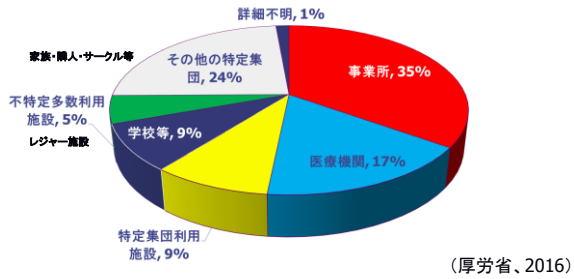
結核対策最近の動向



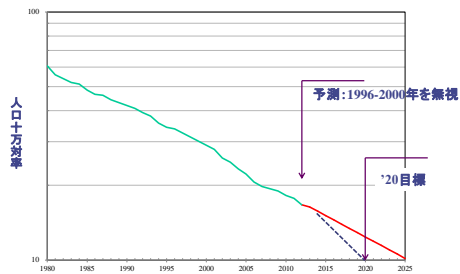
森 亨
ストップ結核パートナーシップ日本
tmori-rit@jata.or.jp



近年の集団発生の発生集団 (2003-14年、総数523件、のべ集団数709)



ストップ結核アクションプラン: 2020年までに低蔓延(罹患率10以下)に 結核罹患率の推移と予測(1980-2012; 2013-2025)



世界の三大感染症

(推定2016年、WHO)

	患者/感染者数	死亡者数
結核	1,040(新患者)	170*
マラリア	21,400(患者)	44
エイズ	3,670(既感染者)	110

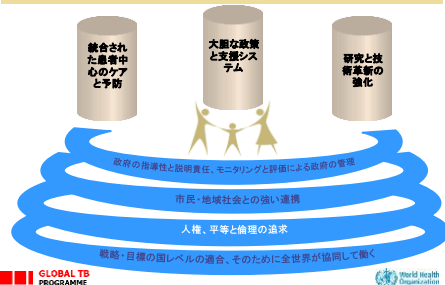
*うち40万はHIV合併

(単位万)

(WHO Global Report 2017)

ポスト2015 結核戦略 対策の柱と原則の提案

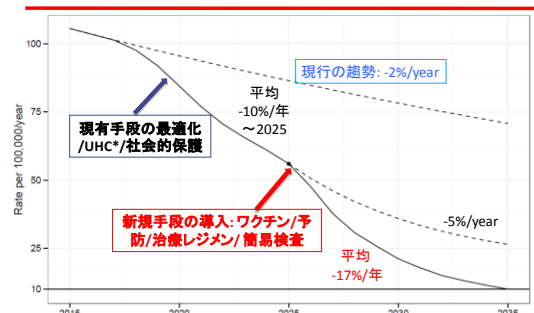
ターゲット 2035年までに死亡率を95%、罹患率を90%減 (=10/人口10万)



GLOBAL TB PROGRAMME

World Health Organization

End TB (結核終息)への道のり



* UHC: Universal Health Coverage. 誰もが費用の懸念なく医療サービスを利用できる社会体制

進む対策技術の革新

- ◆ 治療: 新抗結核薬の開発
 - デラマニド(大塚製薬)、ベダキリン(ヤンセンファーマ)
- ◆ 結核菌検出法
 - LAMP-TB(栄研化学): 医療現場向け高感度検出技術
- ◆ 薬剤感受性検査技術
 - ジェノスカラー(ニプロ): 薬剤耐性遺伝子の判定
- ◆ 近未来の技術
 - 新抗結核薬の開発、これを他の薬剤と併用して新規レジメンを確立、超短期治療を目指す
 - 治療ワクチン: 多剤耐性結核の治療効果を高める
 - 予防ワクチン: 従来ワクチンの効果を延長、成人型結核にも有効
 - 携帯電話アプリ: m-Health DOTS

政治課題としての結核対策

- ◆ 1993 WHO: 世界結核危機宣言
- ◆ 1993 世界銀行報告「健康への投資」
- ◆ 1994 WHO: DOTSプログラム
- ◆ 2000 **ストップ結核パートナーシップ**
- ◆ 2001 国連: ミレニアム開発目標⇒WHO: 世界結核対策戦略
- ◆ 2002 **世界エイズ結核マラリア対策基金**
- ◆ 2009 **国連高級レベル会議: 非感染性疾患**
- ◆ 2014 国連: 維持可能な開発目標⇒WHO: 結核終息戦略
- ◆ 2015 WHO: **薬剤耐性(AMR)**に関する国際行動計画
- ◆ 2017 結核対策閣僚会議(ロシア)
- ◆ 2018 国連高級レベル会議: 結核